

2020年5月1日

「緊急！大学生・院生向けアンケート」大学生結果速報

全国大学生生活協同組合連合会
広報調査部

1. はじめに

新型コロナウイルスへの対応で日本中が混乱する中、大学生の生活も大きく変容しています。私たち大学生協は、今後の大学生活のありようや大学生協として取り組むべきテーマを具体化するために、「緊急！大学生・院生アンケート」に取り組み、3万5千名を超える方からご協力いただきました。アンケート結果を公表することにより、この状況下にある大学生・院生への理解を深めていただき、今後の大学生活の向上につながることを願っています。

2. アンケートの概要

このアンケートは、全国大学生協連、2つの大学生協事業連合、各大学生協のホームページや、生協利用者へ拡散を呼びかけて募集したWebアンケートです。調査対象は全国の大学生、大学院生で、調査期間は4/20（月）～4/30（木）です。

・調査方法 Web調査(大学生協ホームページや生協利用者へ拡散をよびかけて回答を募集)

・調査対象 全国の大学生、大学院生

・調査期間 4/20(月)～4/30(木)

・回収数 大学生 35,542 回答

・アンケート結果についての注意点

※匿名性による学生以外の回答や複数回答、不適当な回答などの可能性があります。

※「学生の消費生活に関する実態調査」や「保護者に聞く新入生調査」の調査方法(全国大学生協連会員生協の組合員から無作為に調査対象を抽出)と異なり、回答数の多い大学や学年があるなど、アンケート結果の代表性は明らかにできません。

3. 大学生向けアンケートの自由記入欄に寄せられた声

(1) 「アルバイト」ができず家計収入減少による経済的不安が多く寄せられています。

アルバイト収入に見通して「大きく減少する」「減少する」と約40%の学生が回答しています。

この先の経済的不安について、「非常に不安である」「不安である」と60%以上の学生が回答しています。

【自由記入欄より】

- バイトのシフトが極端に短くなった。学費を支払えないかもしれないので、休学もしくは中途退学を考えている。授業もまともに行われていないのに、学費(特に設備費)を満額支払うのは苦しい。大学独自の奨学金制度も少ないため、せめて何も受講しなかった4月分は返還してほしい。(私立大1年生女性・自宅生)
- 正直、大学に入学したことを後悔しています。両親もぼく自身も収入が減ったのに対し、支出は変わりません。ぼくの学費が家計を圧迫していることを思うと申し訳なくてたまりません。家にはパソコンも無いのでなんとかスマホで対応しています。バイトも勉強も中途半端でなんのために大学に入学したのかわかりません。四六時中不安です。(私立大1年生男性・自宅生)
- この4月からバイトを始めようと計画していたため貯蓄が非常に少ないのにも関わら

ず、昨年度はほぼバイトをしていないため収入が減ったと言うこともできず、困っている。(私立大2年生女性・一人暮らし)

- ▶ アルバイトが大幅に減り、収入が激減したうえに、大人数が密集する対面授業がGW明けに始まると思うと不安。コロナが収まったかと思いきや、非常に感染力が強いので再び第二波、第三波と終わりが見えないのが怖い。国民全員が自宅待機というわけにはいかないと思うので、せめて教育機関に通うものは今年一杯は全てオンラインシステムにしてほしい。(私立大2年生女性・自宅生)
- ▶ アルバイトをして授業料を支払っていましたが、今回のコロナウイルスの影響で解雇され、今は収入が全くありません。また、今は自宅で過ごしており、下宿先では全く生活していませんが、家賃や共益費等は支払わなければならない、学費も全額、支払う必要があります。収入がない中でこれらのお金を工面できるかどうか、とても不安です。(国立大2年生女性・一人暮らし)
- ▶ コロナの影響で、バイトが全く無くなってしまった。片親であり、親の収入が少なく、またわたし自身が下宿をしている為、授業料免除や奨学金を受けている身であるが、さらに家庭の経済状況が厳しくなってしまった。また、学校がウェブ授業なので、一人暮らしをする意味がなく、帰省をしたいが、電車などに乗るのは躊躇われるので、帰ることができない。(国立大2年生女性・一人暮らし)
- ▶ 奨学金では足りなく、感染リスクを押さえるためにバイトも十分にとれてないので、大学に4年間通えるのかとても不安です。(私立大1年生男性・自宅生)
- ▶ 授業料減ったんだから学費減らしてほしい。あと教科書のオンライン購入の際、バイト削られてお金ないから手数料と送料はそっちが負担してほしい。(私立大3年生女性・自宅生)
- ▶ アルバイトがないため教科書を購入する費用もなく、国からの10万円をそれに充てる予定です。このままいくと食費も無くなる恐れがあります。世間も大変だと思うので無理は言えませんが、学費や生活費の貸出ではなく給付や免除がもっと充実すればいいなと個人的に思っています。また、学園祭が中止となればそれ自体今後開催できなくなるため非常に不安です。(国立大3年生男性・一人暮らし)
- ▶ 一人暮らしでバイトも休み、就活もうまくいっていない友人たちが、次々に精神的に不安定になっていくのを感じる。大学で会う機会でもあればいいのだが、それもなし。なんとか人と関わり、心を軽くするようなことがあればいいのと思う。またせっかくの大学生活なのでしっかりと学びたいが、web上では得られるものが少ないように思う。やはりそもそも唇をずらし、開講を遅らせて本来の形でやってほしい気持ちが強い。講義形式であればweb上で問題ないが、web上で複数人と通話する形で進めるものは、発言のタイミングも非常に難しく、効率も悪いと感じる。(公立大4年生女性・一人暮らし)
- ▶ アルバイト先が営業自粛になり、収入がゼロになった為、非常に貧しい生活を強いられています。他大学では、学生に現金の支給があるとのニュースを見て、本学でも実施されれば、生活が少し楽になるのではないかと考えています。この状態がいつまで続くのか分からず、とても不安です。このアンケートによって、何かしらの学生向けの対応に繋がれば良いなと思います。(公立大4年生男性・一人暮らし)
- ▶ アルバイトの収入大幅減など経済的打撃が大きい為、大学からも返済不要の奨学金をいただきたい。また、大学や就職を半年先送りしてほしい。(国立大4年生女性・一人暮らし)
- ▶ 気付いて欲しい事があります！上京し、1人暮らしの費用を決める際に自分のアルバイト収入プラス仕送りで生活費を計算していました。アルバイトが休業や無くなる先

輩同様に、コロナの影響で、上京しスタート時点からアルバイトすら出来ない、アルバイトが無い状況の為、予定していた仕送りだけでは生活できない事態になっています。選択肢は、アルバイト分を全て仕送りを増額してもらう事しかありません。兄弟もいる為、仕送りが維持されるのか現状、自分ではアルバイトも出来ず何も手立てがありません。新入生も、アルバイトすら出来ずアルバイトが休業、無くなった方と全く同じ状況下にある事実を知って欲しいです。(私立大その他・一人暮らし)

- ▶ 連日報道されていますが、アルバイトの激減で給料が入りません。有難いことに、授業料の半免を受けていますが、実家の経営状態が悪く、両親に足りないと言うことも出来ません。図書館も閉まり、企業研究の機会もなく、本当に採用されるのかどうかも不安なまま選考が進んでいます。大学側が精一杯の努力をしてくださっていることに感謝しています。しかし、現状では厳しい学生もいることをご理解いただけたらと思います。野菜の高騰で野菜を買うことも躊躇います。今、アルバイトに出れているので、就活をしながら出勤しています。デパ地下勤務なので、出来れば出勤はしたくありません。しかし、就活が今後伸びてしまうと、アルバイトに復帰できる時期も伸びていきます。その時の生活費のためにも、今働かざるを得ません。卒論も進みませんし、欲しい本があれば買うしかありません。なんとか切り詰めてやるしかない状況です。(私立大4年生女性・一人暮らし)
- ▶ アルバイト収入がなくなりました。自分も含め、通信環境の整備や生活費が必要な学生が多くいると思います。大学は5月からWEB授業を開始するそうですが、先生方が上手く機材やサービスを使い授業をできるのか、また情報や指示をしっかりと伝えてくれるのが心配です。(私立大4年生男性・自宅生)
- ▶ アルバイト(観光客向けの飲食店)先が現在休業中で、おそらく緊急事態宣言が解除されない限り休業を続けるとのこと。普段であれば月5万円ほどあるはずの収入が、3月からの人員削減で4月にもらえる分が1万になり、4月4日を最後に休業してしまっただけで、もうほとんどお金が入ってこない状況です。今は親の仕送り(毎月の家賃の分)と貯金で生活しています。休業補償があるとの連絡もバイト先から来ませんし、政府から10万円給付されるとしても、心許ない状況です。ただ、この状況であえてスーパーやコンビニで働き始めるというのも、正直感染リスクを高める行動のように思え、躊躇しています。しかし6月ごろになっても事態が変わらない(バイト先が再開せず休業補償も出ない、授業も開始しない)のであれば、そのようなところで働くしかないし最近では思っています(雇ってくれるかは別ですが…)。(国立大2年生女性・一人暮らし)
- ▶ 10万円の給付金が発表されましたが、正直10万円だと足りないです。授業料やその他資金を払おうとすると家賃や生活費がほぼないです。新居の教材等の支払いで私の通帳では数万円しかありません。またコロナウイルスが怖すぎて毎日が不安です。親は仕事がある為出勤していますが、本当に心配です。父は近日5月の下旬まで連休し、その後は決まっていますので、収入面では減少し、私の家賃だけではなく、実家の家賃水道等の支払いができるのかどうかも不安です。(公立短期大1年生女性・一人暮らし)

(2) 授業あるいは対面授業が無い中、学費の減免や返還を求める声が多く寄せられています。

【自由記入欄より】

- ▶ 学費の納入に困っている人を多く見かける。学費は一律免除するべきである。また、大学の使われていない教室などをコロナの検査場に使えば、早期終息に貢献できるのではないだろうか。(国立大3年生男性・一人暮らし)

- 学費をかりて授業料にあてていますが、バイトも無くなって貯金ができず、返すあてもなくなり、非常に焦っています。授業料をフルに支払うのは納得できません。教科書購入時の送料でさえ惜しく感じます。(私立大1年生男性・自宅生)
- 満足のいく授業ができていないのに授業料がそのままなのはおかしい。また、設備費・実習費なども取られるのはおかしいと思う。(私立大4年生女性・自宅生)
- 授業料、教育充実費(施設費)、理系であればそれに加えて実験費を全額支払わないといけないのはどう考えてもおかしい。授業の質は明らかに低下しているし、未だに授業の形態について一切知らされていない科目もある。また、レジュメを各自印刷し自学自習を行い、レポートを提出する、もはや授業とはいえない科目もある。これらに対して全額を支払うのはどう考えてもおかしい。加えて、春学期の授業料の納入期限は4月中であり、納得のしようがない。全くもって意味が分からない。(私立大3年生女性・自宅生)
- 1ヶ月も何も授業をしないのだから、学費を減額してもらいたい。通常の授業スケジュールであれば、6-9月は留学や運転免許取得に励もうと考えて今まで単位をとってきたので予定が狂った。(国立大2年生女性・一人暮らし)
- 図書館も使えない状況で平常時と同じ学費を納めることに不服です。開始を9月にしても良いと思います。(国立大3年生女性・一人暮らし)
- 今日、複数の大学で既に活動が起っていますが、私も学費のうちの施設費の返還を主張します。今学期、学生は大学内の施設を全く利用出来ず、大学が定めた使用意図に見合う恩恵を学生は受けられていません。それだけでなく、施設が使えないことで新しいパソコン購入など金銭的に厳しくなる人もいます。こういった状況の中で、大学側が施設費として年数十万円を数千人といる学生から徴収することはおかしいと考えています。学費という利用先が見えづらい大規模な金額なのでうやむやにされやすいと危惧していますが、普通に他業種などで考えれば消費者が得られないものの費用を巻き上げることはありえません。そのため、施設利用費の返還を強く主張します。または、例年通りの徴収を決め込むのであれば、各大学は、現在の施設利用不可の状況でも徴収する必要性、その費用の利用先を学生に納得いく形で発表する義務があると考えています。(私立大4年生女性・自宅生)
- オンライン授業なのに学費が減額されていない事。大学側は、"授業の質は変わらないので学費も変わらない"と言っている。しかし授業以外に、大学の図書館、実験設備等の様々な施設を利用できたり、授業外で教授に直接疑問に思ったことを聞きに行ったりと、自ら学びを深めたり、わからないことを解決する場を失ったという不安がともある。そして、その上、オンライン授業という新しい環境に対するストレスや、ネット環境を整える為の費用が削られる。精神的にも金銭的にもとても苦しい状態だ。(私立大3年生女性・自宅生)
- オンラインでの学習環境を構築するにはいい機会となったとは思いますが、大学に通わない学生生活は物足りなさも感じる。また、この授業形態が続くのなら学費を少しでもいいから安くしてほしい。(私立大2年生男性・自宅生)
- 大学に行くことができない中で学費が通年通りというのに疑問を感じる。施設が利用できない、普段の講義よりも質の落ちた講義に対して同じ額を払うのはかなりの抵抗を感じる。親の収入も減ってるなかで、あの金額の学費を払うのは、かなりの負担だと実感している。(私立大2年生女性・一人暮らし)
- 学費を減額してほしい。大学にも行けてない、授業もオンライン。体育館、トイレ、グラウンド、講義室、食堂。何もかも使っていないし、もともと学費が高いのだからお金を給付して、みんなを助けてあげてほしい。ひとり勝ちより、みんなが勝つ世の中に。

- (私立大 4 年生男性・自宅生)
- 授業が行われていないのに前期授業料を支払わなければならないこと。一部でも返金してほしい。アルバイトのシフトも入れなくなり収入がなくなる。(公立大 1 年生男性・一人暮らし)
 - 学生本人だけでなく、家族の収入が減少した場合も授業料の支払いは考慮してほしい。(公立大 4 年生女性・自宅生)
 - 対面授業ができないのなら、国立大も私立大も関係なく学費納入にある程度猶予を持たせるかあるいは減額・免除すべき。(国立大 3 年生男性・一人暮らし)
 - web 授業で学校の施設を使えないのにも関わらず、同年と同じ学費がかかっていることがおかしいと思う。学生のことを考えるのが大学の方々の役目でもあるため、そこを疎かにされてしまうと不信感を抱く。学生はアルバイトも出来なければ、特に 4 年生である私は就活もあるため金銭面では大いに困っている。お金を返すか、学費を削るか、など何かしらの対策をして貰わなければ、意味がわからない。無駄なお金を返してほしい。(私立大 4 年生男性・一人暮らし)

(3) 友達ができない、サークル活動できないなど、リアルなつながりが無いなかでの不安、不満が多く寄せられています。

大学の新しい友達は「0 人」と 7,669 名、「5 人未満」と 6,990 名が回答しています。

部活・サークル等で新入部員の獲得について、「全く入っていない」「苦勞している」と 12,529 名が回答しています。

【自由記入欄より】

- 春から下宿している新大学生です。元々の性格に加えまともな大学生活を送ることが出来なくなったことも相まって毎日不安で怖くて仕方がないです。話し相手もおらず寂しくて、もう大人なのに毎日のように泣いています。親も非常に心配しているようで帰省が決まりましたが、もしものことを考えると両手放しに喜べる状況ではありません。パソコンも不慣れですからオンライン授業にも不安が残ります。いつまでこんな状況が続くのだろうと思うともうしんどいです。(国立大 1 年生女性・一人暮らし)
- 早く大学に行って友人を作りたい。(私立大 1 年生男性・一人暮らし)
- 大学に友達がいないうえにウェブ授業があってもわからないことがあった時、相談する相手もないのでとても不安。授業についての詳しい情報がなければ単位を落としてしまうのではないかと毎日不安です。(私立大 1 年生女性・一人暮らし)
- 友達欲しいけど、一緒にご飯食べたり出来ないから、作る機会がない!!! (国立大 1 年生男性・一人暮らし)
- 新入生です。生協の友達作りのオリエンテーションを当てにしていたのですが、なくなったため、新しい友達ができなくて悩んでいます。SNS では何人かと繋がっていますが、直接はまだ一度もあったことも話したこともなくて不安です。もし可能でしたら、コロナが落ち着いたら、生協さんで友達作りのオリエンテーションを開催していただきたいです。(国立大 1 年生女性・一人暮らし)
- 入学式、オリエンテーションすらなく 学部の誰とも会った事がなく、憧れのサークル活動も全く情報すらない。知らない地で 誰とも交流することなく 何のためにここにいるのか、眠れない日が続く。大学によって 開講日が違ったり、授業料保証が有る大学もある。不公平な世の中。(国立大 1 年生男性・一人暮らし)
- SNS 上でしか同学年学部と話す機会がなくて、対面で話せないのが寂しい (国立大 1 年生女性・自宅生)
- 大学で友達を作りたいが、直接会えないのでなかなか難しい。サークル等も見学に行

きたいが現在新型コロナの影響で活動を自粛しているためそれも出来ない。今のところ同じ大学の人との強い繋がりを持っていないので、これからの学生生活が不安である。事態が収束したあとも、当面影響は残るだろう。(国立大1年生女性・自宅生)

- ▶ 大学の友達が全くおらず、実家も遠いので相談相手が全くいない。大学の先生からもあまり援助がないので単位がちゃんと取れるかが心配。(国立大1年生男性・一人暮らし)
- ▶ この先がどうなるか全く見通しがつかず、新入生なのに入学式もなく友達ができないので大学での対面授業が始まった時にうまくなじめるか不安である。(国立大1年生男性・一人暮らし)
- ▶ 一番の不安は、入学してからほとんど大学の同学年の人とのコミュニケーションが取れていないことです。またサークルと部活のどちらに加入するかで迷っており、それ次第で今後の授業の取り方などがかなり変わると思うので、そこも不安の一つです。サークル等の情報が自分のやっていない SNS で発信されていた場合、知ることができないので、一括して見れるとうれしいです。(私立大1年生男性・自宅生)
- ▶ 大学が始まらないと友人をつくる機会が無いため家に一人していると孤独を感じる(現在アパートで独り暮らし)。また、出身が現在と違う場所であるため、生活に関する相談やわからないことなどを聞く相手がいない。(公立大1年生男性・一人暮らし)
- ▶ SNS でのみ話す大学での新しい友人はできたが、大学が始まり実際に会ったときに同じノリでは接する事はできないと思う。変な関係性になりそう。(国立大1年生女性・一人暮らし)
- ▶ オンライン授業だと、生活がだらけたり友人に会えず楽しいことがなくなったり、また学校がないとサークル活動も一回生を呼ぶこともできず、とりあえずプラスなことがひとつもないと感じます。誰もせめることはできませんが、とりあえずはやくコロナがおさまってほしいと思うばかりです。(私立大2年生女性・その他)
- ▶ この1年満足な授業、サークル活動ができないと考えているので、できることなら1年後から大学生活を開始したい。また、4月中は全く授業がなく、ウェブ授業で満足な授業はできないと思うので学費を減額してほしい。バイトがないので現金、物資支給などがあると嬉しい。(国立大3年生女性・一人暮らし)
- ▶ 前期講義を WEB 授業にすることには賛成しています。新たな学びの方法が確立されて普及されればと思っています。しかし、部活動やアルバイトなど対面しなければならない場面は非常に不安です。今年部活動は引退を考えていたので何も出来ないまま終わるのはとても辛いです。アルバイトは児童クラブに行っているので子供たちへの感染なども不安です。しかし、人手が足りず、朝から夕方まで勤務している方もいるので政府からの支援が充実するとういなどと思っています。今は我慢の時期だと思うので家で出来ることは精一杯やろうと思いますし、今まで出来なかったことをゆっくり出来る時間にしたいと思います。(国立大3年生女性・一人暮らし)
- ▶ 早くサークル活動を再開させたい。新入生との関わりを持ちたい。履修や授業について不明な点や不確定な部分を明らかにしたい。(国立大2年生女性・自宅生)

(4) 将来や進路に対して、不安が増したと感じている声が寄せられています。

「さらに不安を感じるようになった」と約40%の学生が回答しています。

「不安を感じるようになった」と約25%の学生が回答しています。

【自由記入欄より】

- ▶ 講義が受けられず、後期に予定している実習が伸びて来年の夏以降まで続き、国家試験の勉強に取り掛かる時間が少なくなることに不安を感じます。(私立大3年生女性・一

人暮らし)

- 就職活動がちゃんと行われるのか、試験を受けられるのか、そして内定をもらえるのが今はとにかく不安です。採用試験が延期されたがまだ日程は未定であるので書類も出せない状況です。(国立大4年生女性・自宅生)
- 看護師免許と助産師免許を取得予定で、今年は病院での実習が予定されています。この実習で分娩介助を経験することが国家試験受験の条件でもあります。新型コロナウイルスの流行によって、予定通り実習が行われないと、受験資格が得られないのです。このまま現状が収束しないのであれば、大学の開校を1年遅らせ、来年度から新たにもう一度再開してほしいと強く思います。(国立大4年生女性・一人暮らし)
- 就活が不安すぎます。企業から言われれば会社まで行かないといけなし、採用枠が少なくなっていると聞き、無事に就職できるのか本当に不安です。(国立大4年生女性・自宅生)
- 今年4年生になり、学生生活最後の年なので思う存分楽しみたいと思っていたが、就活の面接延期や、サークル活動や学祭などのイベント行事が開催できるか分からない状況で、先行きが不透明すぎて不安しか感じていません。このまま友人たちと過ごせず、卒業するのは嫌だというのが本心です。我儘ではありますが、1年我慢してでも学年歴の開始を先延ばしにして、学生として最高の時間を過ごしたいです。(私立大4年生女性・自宅生)
- 大学生生活最後の年だったので、このような事態になり残念です。就職活動もすごく心配です。可能であれば学生を1年先延ばしにしたいです。(私立大4年生女性・自宅生)
- 現在教員採用試験に向けて勉強中です。面接や集団討議などやはり1人では練習できないことがあります。大学での対策講座の延期や中止と言うことは決まりましたが、どうするのが具体的にまだ何も決まっていません。仕方のないことだと分かっていますが、先の見えない中で勉強することが不安でストレスがたまります。早く見通しを持ちたいです。(国立大4年生女性・自宅生)
- 実験がちゃんとできない状態で単位をもらえとしても意味がない。研究室配属の時期が遅れることによって、将来の進路を考える時間が短くなってしまうこと。(私立大3年生女性・自宅生)
- 就職活動にあたり、採用人数削減や内定取り消しが出てこないかが心配です。また、卒業研究への影響も気になります。(国立大4年生女性・自宅生)
- 理系で卒業研究は研究室に行かないと行えないため、十分な研究に取り組めるかが不安です。(私立大4年生男性・一人暮らし)
- 私の志望する業界は一般に、国民経済の良否の影響を多大に受けてしまう業界と言われており、また、大変難関な国家試験に受かる必要もあるため、就職が難しい状況に置かれてしまうのではないかと不安に感じている。(国立大2年生男性・一人暮らし)
- 就職活動も大学卒業も両方できるのか不安なので4年生のための対策を特に重視してほしい。(私立大4年生女性・自宅生)
- 卒業論文を書くために履修するゼミがWEB授業になるのかどうなるのか分からず、不安しかない。会社説明会を中止したほとんどの会社から追加の連絡がこず、ただでさえ不安な就職活動がさらに不安になった。(私立大4年生女性・自宅生)

(5) 今後の大学の授業に期待するものとして、対面授業と学年歴の開始の延期を希望する声が寄せられています。

「今後も対面授業を続けてほしい」と約30%の学生が回答しています。

「学年歴の開始を秋から」と約20%の学生、「学年歴の開始を1年先延ばし」と10%を超

える学生が回答しています。

【自由記入欄より】

- 留学が中止になったりやりたいことができない大学生活になってしまう可能性が高いのが非常に残念。来年も同じ学年でやり直したい。(公立大2年生女性・自宅生)
- オンライン授業のために学費を、しかも費用もそのまま費やすのはもったいないと感じる。自分の希望ではあるが、全大学を1年休学にしてもらいたい。(私立大3年生男性・自宅生)
- 授業を1年先延ばしで、今年分の授業料をなしにしてほしい。卒業後の就職先がないように感じる。(公立短期大1年生女性・自宅生)
- 今年1年は無かったことにして、来年度もう一度同じ学年でスタートした方が良いと思う。対面での講義が受けられず、授業によって課題が出されているものもあれば全く教員からの連絡が無いままの授業もある。オンラインばかりのせいでパソコンと向き合う時間が増えて目が疲れる。友人とも全く会えず不安がつりストレスが溜まる。ここまでムラがありオンラインのせいで講義の質も落ちたグダグダな大学の対策なのにもかかわらず、授業料だけは普段と変わらない金額を徴収される。正直、今の大学のやり方は受け入れ難い。(私立大2年生女性・一人暮らし)
- 大学を中途半端に始めないで欲しい。全員留年させる形をとってほしい。それをするほどコロナの影響は重い。(国立大1年生女性・一人暮らし)
- 大学の始まりを来年にして欲しいです。新1年生なので友達が出来ないのがとても不安です。(公立大1年生男性・一人暮らし)
- 今のままだと学費だけ取られているような気がする。社会全体に影響するが、学年歴を一年ずらしても良いのではないかと感じる。(私立大2年生男性・一人暮らし)
- 実験がやりたくてこの学部を希望したのに、実験ができないなら休学しても良いのではないかと最近思い始めた。従来通りの授業カリキュラムを早く受けてたいです。今のままの授業が続くくらいなら、学期を遅らせるなどして通常授業を受けたいです。(国立大2年生女性・自宅生)
- 中高生にも言える事だけれど、夏休みを削って授業の遅れを取り戻すのはあまり良くない。受験生がかわいそう。大変かもしれないけれど秋学期スタートにして、ほかの国との足並みを揃える絶好の機会だと思う。(国立大2年生男性・一人暮らし)
- 今年の学費は免除し、一年全員留年、という措置を、とっていただけると最後の学生生活をやりきることができないのではないかと不安や、就職できるのかという不安が解決するのでありがたいです。(公立大4年生女性・自宅生)
- オンライン授業ではできないことがたくさんあるし、大学に行って友人と切磋琢磨して学ぶことに意味があると思うので政府は全部の学校を9月入学、8月卒業にするべきだと思う。(私立大2年生女性・自宅生)
- 今現在の大学生だけでなく将来の大学生(現高3など)のためにも日本の大学全体で足並みをそろえて動いて欲しい。他大学の友人とやりとりしていても授業の進行ペースの違い等で院や就職のタイミングの不透明さに頭を抱えている。(国立大2年生女性・一人暮らし)
- 4年目と最後の年であり、授業の履修や卒論、サークルなど様々なことに精一杯取り組もうと考えていた。しかし、コロナの影響により行動に制限があり大変悔いの残るものとなっている状況である。そのため、進級進学をなくし、全ての子どもが同じ学年でもう1年過ごすことができるようにしてほしい。子どもの1年と大人の1年は異なる。コロナの状況が収まると何もなかったかのように時が流れていくことを考えると大変悲しいものである。時間は日々過ぎていくが、時は止まったまま。このことを念頭に置

き考えて頂きたい。また、入学式や卒業式、大学祭などの各節目行事の実施は今後どのようになっているのか早めの連絡を頂きたい。さらに、授業進度の遅れや学力差が生じている小中高等学校の教員の負担は大変大きいものであり、課題を渡して終わりではしっかりと知識や技能、思考力判断力表現力の育成にはならないと考える。また、学校という場は勉強だけではない。他者と関わることで子どものよさや可能性を引き出し、将来の夢や理想を考える機会を与えるものであると考える。そのため、コロナの状況下の中で不安を抱えながら学校の再開を行うのではなく、ある程度終息した段階で学校再開を検討して頂きたいと強く志望する。(国立大4年生女性・一人暮らし)

- 全ての活動を9月から移行し湿度高く日当たり強い夏で封じ込めるようやれば不安が軽くなるなどと思います。(国立大1年生男性・自宅生)
- 教育実習などが未定となり、教員採用試験もどうなるか分からないため進路が非常に不安です。このような状況下ですので、全学生1年間留年という措置を取っても致し方ないのではないかと思います。(国立大3年生女性・一人暮らし)

以上